



寒サニ負ケズ

1月23日に、放課後等デイサービスの皆さんで、内湾の五十鈴神社付近に出かけてきました。季節は大寒の真っ最中で、寒い日だったのですが、子どもたちはお出かけて大喜びです。引率の大人は、風邪をひかないように、感染に注意するのに一生懸命でしたが、子どもたちは、寒さにもまげずに気仙沼湾の景色を堪能していました。故郷の良いところをたくさん見せたいものです。



豆まき

今年の豆まきは、生活介護と放課後等デイサービス共同で、2月3日と4日の2回行いました。今年の鬼は、赤鬼と青鬼の二人、衣装も凝っていて、迫力満点でした。そうすると、燃えるのは子どもたちで、一生懸命、新聞紙を丸めた豆をまいていました。みんなで鬼をやっつけて大満足。鬼の衣装で記念写真を撮る子もいました。



雪ニモ負ケズ

今回の冬は、とにかく寒い日々が続きました。施設にもたくさん雪が積もりました。せっかくの雪なので小山にしてそり遊びをしました。放デイだけでなく、児童発達支援の子どもたちも雪遊びを体験しました。



外部からの仕事を受注



生活介護の利用者に、外部から仕事の依頼がありました。商品のタグにひもを通す穴を開ける作業です。600枚で納期は2か月です。依頼主は、アクセサリなどを製作販売している「アクアラボ気仙沼」さんです。産業まつりの際にも出店していたそうです。いっぽでは初めての仕事の依頼です。依頼だけでもありがたいのですが、納期2か月という配慮もありがたいです。

出店



生活介護事業では、1月21日、22日に市内八日町で開催された「八日町ばちばちウイーク」という地域おこしのイベントに参加し、自分たちで作成したアクセサリ等を販売しました。作成者自身が販売したのがよかったし、アクセサリーの出来映えもよかったので、たくさん購入していただきました。なお、今回の参加は本人の希望によるものです。

オセロ



テーブルの上に並んでいる丸は裏表で色が違います。これをチーム毎に一斉にひっくり返します。制限時間以内であれば、何度でも返すことが可能です。今回は1分間で行いました。こう書くと、よく分からないのですが、とにかく何度も自分の色が表に来るようにひっくり返します。結構体力も使うし盛り上がります。この日は、4回戦行い、冬場の運動不足解消にもつながりました。

獅子舞の貼り絵



居宅訪問型児童発達支援でも季節感が味わえるような活動を取り入れています。この日、実施したのは、獅子舞の貼り絵です。ローラーを転がす作業を行いました。作品は部屋に飾ってあります。

宮城県の実地指導が終わりました

福祉施設は、宮城県の事業認可をいただいています。そのため、3年に1度、県庁から職員が出向いて書類等の様々な審査を受けます。大過なく終わりました。